

SL電線

SnowLess

ONLY ONE TECHNOLOGY 1

工期短縮!
コストダウン!
宙乗り作業不要!

難着雪リング付き電線

冬季の厳しい自然環境にさらされる送電線では、着雪による異常荷重や、落雪によるスリートジャンプ、および線下への被害が多く発生しています。こうした事故を未然に防ぐために、着雪対策として、SR (Snow Resistant) リングとねじれ防止ダンパの取付けが広く実施されております。こうした着雪対策を、電線の張替えおよび新設工事において実施する場合には、電線製造時に難着雪リングを取り付けたSL (Snow Less) 電線をお勧めいたします。

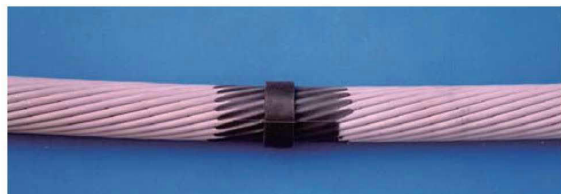


SL電線

SL電線(難着雪リング付き電線)の特徴

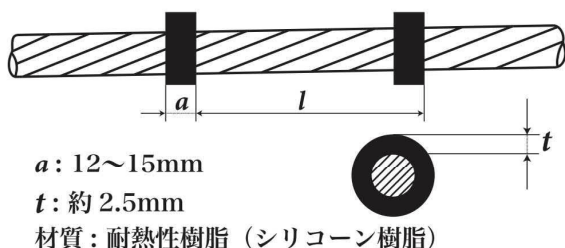
- 架線後にSR リングを取り付ける必要がないので、工事期間が短縮でき、コストダウンに貢献します。ACSR160 ~ 410 mmにおいて、巨長約3km の通常延線時における試算では、張替工事全体費用の約15 ~ 35%コストダウン出来ます。
- 宙乗り作業時間が短縮され、コストダウンとともに危険な高所作業が低減します。
- SRリングとほぼ同等の難着雪効果が期待出来ます。
- 架線工事は引抜、吊金工法のいずれも可能です。
- ACSR, TACSR, AC, GSW, OPGW の各種電線に取り付け可能です。
- クランプ部の剥ぎ取りには専用工具を用意しています。
- 単導体では、ねじれ防止ダンパと組み合わせて設置するとより効果的です。

SL電線（難着雪リング付き電線）



SL-ACSR 240 mm²

○ SL電線の構造

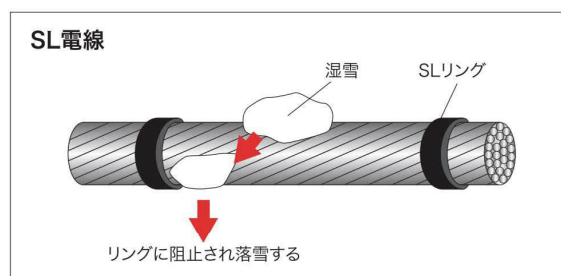


■ 標準リング間隔 (l)

間隔	ACSR/TACSR	AC	OPGW
30cm	120mm ² 以下	75mm ² 以下	75mm ² 以下
40cm	120mm ² 超え 240mm ² 以下	75mm ² 超え 260mm ² 以下	75mm ² 超え 260mm ² 以下
60cm	240mm ² 超え	—	—

○ SL電線の原理

電線への着雪は外層の撚りに沿って雪が回転し成長します。この雪の回転成長を阻止するには、リングを取付けることが有効です。製造時にリングを一定間隔で取り付けけた難着雪用のSL電線は既存電線に宙乗りして取り付けけた難着雪リングに比べて、施工時の省力化のメリットがあるとともに、宙乗り作業が出来ない細径電線には不可欠な製品となっています。



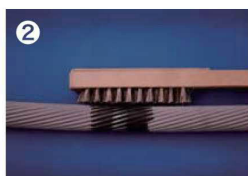
■ SLリング剥ぎ取り方法

クランプ部やダンパ取り付け箇所は専用工具を使用して、リングを剥ぎ取ります。

リング剥ぎ取り工具



① 専用工具を電線に取り付け、1回転させます。
 (リング本体が剥ぎ取れます)



② 短毛ワイヤブラシでリングの残部を取り除きます。

リング取り付け間隔が60cmの電線の場合、短尺アーマロッドを使用することにより、ダンパ部のリングを剥ぎ取らずに、アーマロッドを取り付けることができます。

【注】剥ぎ取り工具は貸出のみ実施しています。

■ 着雪防止対策効果例



単導体のSL電線にねじれ防止ダンパを取付け、着雪防止対策をとった電線には着雪していませんが、無対策の電線には着雪しています。

【注】SL電線は表面最大電位傾度14kV/cm以下でのご使用をお願いしています。詳細については、弊社までお問い合わせ下さい。